○「二上採石場拡張事業」に係る事後調査結果等の公表（第36回）について

2023年7月4日

疋田砕石

二上採石場拡張事業については、「奈良県環境影響評価条例」の手続きに基づき、2014年6月16日から事業に着手しました。

2023年3月18日から2023年6月17日までに実施しました環境保全措置の実施状況及び事後調査（大気質（粉じん等）の事後調査については、地元との協議を踏まえて拡張事業の着手前から実施しています。）への取り組み状況について添付資料のとおり公表いたします。本公表資料は、“奈良県 水循環・森林・景観環境部 環境政策課”で2023年6月23日に承諾されたものです。

これまでの公表資料（事業着手から2022年12月17日までの環境保全措置の実施状況及び事後調査への取り組み状況）については、公表（第１回～第35回）に収録していますので、そちらをご覧下さい。

＜奈良県 水循環・森林・景観環境部 環境政策課への報告＞

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 調査等の項目 | | 調査情報 | 奈良県報告年月日 |
| 環境保全措置の実施状況 | | 疋田砕石（グループを含む）が取り組んだ環境要素毎の環境保全措置の実施内容 | 第36回事後調査報告  2023年（令和5年）  6月21日 |
| 事後調査 | 大気質 | 事業区域から発生する粉じん等（降下ばいじん）の状況を把握するため、事業区域内2地点並びに周辺の民家近傍4地点の合計6地点で実施  ・春季：2023年1月31日～2023年4月26日 |
| 水　質  （新たな保全措置） | 2016年12月1日以降から新たに以下に示す調査等を実施している  ・新たな環境保全措置   1. 目視による接触ろ材（モールコード）の目詰まり状況点検（1回/週）   　　2023年3月18日～2023年6月17日   1. 自動活性ろ過器の活性炭等の交換（1回/年）   　　2023年5月15、16日実施   1. 自動活性ろ過器の逆洗浄（4回/年）   　　2023年5月16日実施   1. 接触ろ材（モールコード）の定期洗浄（4回/年）   　　　2023年5月11日実施  ※上記の点検等に併せて下記の作業も実施  ①調整池にたまった泥等の浚渫作業  （2023年5月11日） |

なお、動物・植物・生態系の事後調査結果については、注目種保護等の観点から位置情報などは公表せずに、次に示すような内容に止めています。

○動物

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 調査項目 | 調査情報 | 奈良県への報告年月日 |
| 両生類・爬虫類の生息状況 | 場内小河川沿いにおいて両生類・爬虫類の生息状況について調査を実施（調査日：2023年6月7日） | 第36回事後調査報告  2023年（令和5年）  6月21日 |

○植物（3期工区で確認されたコバノミツバツツジ）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 調査項目 | 調査情報 | 奈良県報告年月日 |
| 移植個体の生育状況 | ＜3期工区全体＞  ・移植に際しての学識経験者への聞き取り調査を実施  　（2018年（平成30年）4月5日）  ＜3期工区調整池周辺地域＞  ・事前調査（調査範囲全体の概況把握・注目種の確認・確認個体数等の記録とマーキング）を実施  （2018年（平成30年）4月26日）  ・移植作業を実施（2019年（平成31年）2月26～27日）  ・移植した個体の活着・生育状況調査を実施  第1回：2019年（平成31年）4月23日（移植直後）  第2回：2020年（令和2年） 4月22日（移植1年後）  第3回：2021年（令和3年） 4月14日（移植2年後）  第4回：2022年（令和4年） 4月15日（移植3年後）  ＜3期工区調整池周辺地域を除く地域＞  ・事前調査（調査範囲全体の概況把握・注目種の確認・確認個体数等の記録とマーキング）を実施  （2019年（令和元年）6月19日）  ・移植作業を実施（2020年（令和2年）1月30～31日）  ・移植した個体の活着・生育状況調査を実施  第1回：2020年（令和2年） 4月22日（移植直後）  第2回：2021年（令和3年） 4月14日（移植1年後）  第3回：2022年（令和4年） 4月15日（移植2年後）  第4回：2023年（令和5年） 4月20日（移植3年後） | 第36回事後調査報告  2023年（令和5年）  6月21日 |

以上